

「切川バイパス周辺市街地整備構想」

島根県が整備を進めている主要地方道安来木次線(切川バイパス)の周辺は、松江圏都市計画区域の市街化調整区域である。バイパス開通に合わせて、バイパス周辺の土地利用方針を見直し、商業施設や産業振興施設の立地が可能となるよう、土地利用方針を見直す。

安来道路北側の切川バイパス沿いは沿道サービス系の進出を促す。

沿道サービス系地域の後方(西側)及び安来道路南側には、事業系の用途である事務所や工場等の進出を促す。

進出事業者が決定した段階で、都市計画法、農地法等関係法令に適合するよう調整を行い、地区計画制度も活用しながら周辺環境と調和の取れたまちづくりを進める。

(仮)安来スマートICを切川バイパス周辺に設置することで、交通の結節点となり、土地の有効利用が図られるとともに、市外からの来訪者の増加も見込める。

『周辺環境と調和し、交通結節点として利便性の高い「人が集まる」まちづくり』を行う。

